

**オイ・野党 オイ・オイ与党**

前々号(新年号)発信時の、メールメッセージが、新年の挨拶だけでしたが、感想・ご意見などをお寄せ頂いた方々には(共通して)以下のメールを返信しました。概ね、不吉な予感が当りそうで、心配しつつも当面習近平国賓来日が見送られることを祈念しています。 PR :新型コロナウイルス対策の決め手は…ウェルネス・プログラム。4章参照



新型コロナウイルスの拡大と脅威



返信メール(共通)内容

ミニコミ誌発信時のメールメッセージが、いつもに比べて極端に短く年頭の挨拶だけに留めたのは、今年が昨年に増して、国内外に於いて厳しい(ネガティブな)年になるだろうという事を云いたくなかった故でもあります。

前回の東京オリンピックの、国を挙げての高揚感が、今回実感として感じられないのは私だけでしょうか？未だに「本当に開催されるのか」すら疑問(不安)です。

1980年のモスクワオリンピックは開催されたものの、米国の呼びかけで日本もドタキャン不参加でした。(ソ連のアフガニスタン侵攻が起因)あの時の状況と、今現在のイランVs米国との状況が酷似しています。開催はしても、ロシア・中国・韓国・北朝鮮の不参加。(妨害を含む)最初からやる気の無い小池都知事・6月の都知事選で小池氏落選？

等々、レームダック化しつつある現政権の混乱を含め、明るい見通しは、個々(志ある小集団)で創造するしかないと言るのが私の見解です。

以上

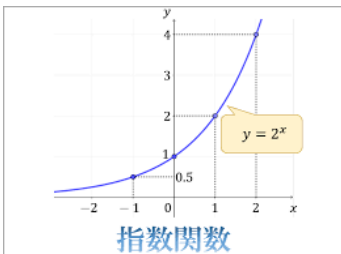
国益や国民の経済・生命の安全確保などそっちのついで、(安倍首相)自身の顯示欲・権力欲に固執し、ウィルス問題の真っ只中であってさえ、習近平国賓招待に言及し「問題があるから会談する」と答弁していたが、習近平国賓来日は、自国の都合で延期申し入して来るであろう(朗報)から、首相の最も得意とする(私の最も忌み嫌う)『なし崩し』は、この件に関してのみ、是非とも貫徹して頂き、願わくば延期から、中止、霧散へと、『なし崩し』して頂きたいものだ。

中国はこのところ、アフリカ豚コレラから始まり、武漢ウィルス・河南省の鳥インフルエンザと、たて続けに病害毒に襲われている。縄文人感覚では、天罰現象だが、犠牲になっている無辜の人民に罪は無い。煽りを受けて罹患しないように気をつけたいものだが、『開発途上国化』政策の『観光立国』『インバウンド政策』をやっている、積極的に病害毒を呼び込んでいては、汚染は免れないだろう。危機感・危険予知感覚を失った国民から、犠牲になるのも仕方ない。

WHOのテドロス事務局長の中国共産党への忖度振りは、度を越して酷いものだった事は周知の通りだが、これに対して日本政府が何のクレームもアクションも起こさないという事は、『同じ穴の貉政府』だし、国民が危機感・危険予知が出来なくなってしまった証左でもある。



WHO本会議



指数関数モデル

武漢ウィルスの発生は、昨年11月からだったようだが、隠蔽され続けて手に負えないまでに蔓延してから発表され、毎日指数関数的に保菌者・発病者・死者数が増え続けている。この時、日本の国会本会議では桜談義に花を咲かせていた。

去年の桜を観る会の招待客名簿をシュレッダーにかけた一件を、なし崩され次に、前夜の夕食会の会費が、どうのこうの…。野党のバカ共は何をしたいのか？首相の首をそんな事で取れると、本当に思っているとしたら、バカ以下の痴愚魯鈍だ。そんな痴愚魯鈍を、当選させている国民がそのレベルだから、天罰はこれからも姿形を変え何度も襲って来る。痛い目に遭い、ポロポロになっても容赦されない。

遂に本性を現して来たのが、今の『安倍晋三』だど何人が気付いているだろうか？三党合意(消費増税)を呑めば政権交代でき、首相の座が転がり込んで来る『千載一遇のチャンス』を掴んで、自民党総裁以上の座を獲得した事を、忘れっぽい国民は、スッカリ忘れ切っている。それを思い出すためにも以下の動画をじっくりご覧頂き、安倍氏の一挙手一投足、云っている言葉と、やって来た事、今云ったり、している事、二人の人格的格差まで読み取れるだろう。トランプ大統領が、弾劾裁判の結果無罪を勝ち取り、『教書』演説を読み上げた瞬間にペロシ下院議長が原稿を破り捨てる行動に出たが、こんなのが居ては民主党の目は当分無い。



ペロシ下院議長の反抗

# 〇〇人のバカさ加減 まさか…

日本人じゃないよね？…と、思いたいところだが、残念ながら大半の日本人がバカ化してしまっている。勿論、自分を含め大半の日本人が『バカ化症候群』に罹っていると云って、言い過ぎではないだろう。古今東西、バカな日本人は節穴から覗き見(視野が狭い)し、世論に左右され(自論を持たず)、聞く耳をふさいで(三猿をやり続けて)来た。

バカがつくほど正直で、クソまでつけて真面目で、我慢強いのが典型的な日本人だったから、その伝統を引き継いでいる面は否めないものとしても、近年の『バカ化症候群』の劣化は今回新型コロナウイルスの脅威に麻痺している事からも明らかだ。

米国はじめ各国が中国人の入国を止めているのに、日本だけはOpen! Well Come!! これは、いったい何なんだ？ 今回の新型コロナウイルス問題は、1~2ヶ月で収束する話ではない。(政府の片手落ちな対応から)半年は保菌者が拡散するだろうから、様々なスケジュールが狂い捲り、あらゆる分野にマイナスの影響をもたらす事は必至だ。生物化学兵器を指摘する声もあるが、真偽のほどは今は分からない。人工ウイルスか、自然ウイルスか分からなくても、『新型』であることは事実なようで、これが、伝染する毎に異常に変異し、強力にならないかが心配だ。そこで、1月31日に官邸から『中国からの渡航拒否』ではなく、従前に行っている、入国時の自己申告カード提出とサーモグラフィーチェックの『水際作戦』だけ。危機感0! それに加え右隣で偉そうに踏ん返り返っているオヤジの、緊張感・責任感のない態度に憤りを禁じ得ない。



1月31日水際対策発表

<https://www.youtube.com/watch?v=CzUosZkd5gw>

新型コロナウイルス 佐々木 類

中国政府の発表する数字は、ことごとく信用に値しない。感染者数・死者数は、1桁・2桁違うという見方のほうが正しいかも知れない。数字やデータしか信用しない科学者や、評論家まで『天罰』をほのめかしている。『天罰』を恐れない開き盲たちは、天誅を食らわなければ分からないだろう。『天罰』は、歴史の転換点に起こる事態と捉えられないほど、感性までも鈍り切っていると知るべきだろう。

感染しないに越したことはない。保菌者と2m以内の接触がなければ、感染は避けられるとの事だが、満員電車・バス・タクシーなどの閉鎖空間。病院などでの院内感染や、不特定多数の人が利用するトイレの便座も皮膚感染の恐れがあるとされている。新天皇誕生日の一般参賀も中止され、東京マラソンの一般参加者も中止となった。今後も各種イベントや集会が中止となるだろうが、インバウンドは中止されない。『新型コロナウイルス汚染国』『危機管理無防備国』の汚名を欲しいままにするのか？

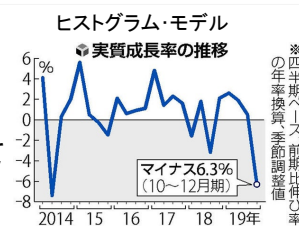
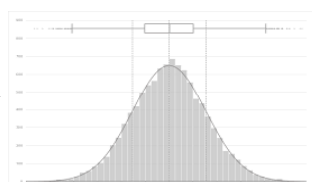


主催者側中止でも参加料は返金されない

遂に、2月17日、タイ保健省は、新型コロナウイルス(COVID-19)に関し、日本、シンガポールからの入国者に対して検疫を強化する旨発表しました。(在チェンマイ日本総領事館発表) 最親日国の台湾でさえも、日本への渡航自粛を呼びかければかりか、今後の状況次第では、日本人の入国制限や拒否もあり得るとの見解(台湾政府関係者談)ですが、当然でしょう。

三次感染から四次感染に広がって来ては、防疫のしようもない。今更、中国からの入国者を拒否した処で、しないよりは良いという程度だがそれさえもしないし、出来ない。

1月下旬に『日本人の生命・財産が脅かされる』新型コロナウイルスのニュースが飛び込んで来たにも拘らず、国会は桜疑惑一辺倒で、国民の生命・財産をないがしろにしている。消費税を10%に上げた結果、予想を上回るGDPの落ち込みと、景気の凋落・デフレの深刻度を増している。この実態を把握しつつ、IMFから「日本は消費税を段階的に15~20%に引き上げなければならぬ」と寝惚けた事を言って来ている。財務省の回し者(田中琢二)がいるからだ。



高給官僚(高級ではない)は、結果に責任を持たず、出世と保身・天下り先以外に関心が無いようだ。人事権を政権に握られているから、ヒラメに徹して忖度し捲くるか、餌が来るまで補色を決めて忙しさに埋没するか、体よく辞めるかしかない。

今更、「こんな日本に誰がした！」と騒いだ処で始まらない。上から下まで、一億総有言不実行、不言不実行の結果こんな日本が出来上がってしまった。やるやる詐欺がまかり通りやってもないし出来もしないのに、遣った振り(パフォーマンス)だけで済まして来たから、為るべくして成った=ケ・セラ・セラという事だ。

無関心で『知らぬ、存ぜぬ、自分には関係ない』スタンスで日和見・無辜を決め込んでいても、新型コロナウイルスは遠慮なく拡散し進入してくる。

今更ついでに、「こんな状態で良い訳が無い、どうしたもんだ？」と、思い至った人は、福沢諭吉先生にもう一度教えを請おう。(現代語訳版で分かり易い読み下し)

<https://www.youtube.com/watch?v=j0y31RA5dt4>

「学問のすゝめ」序編

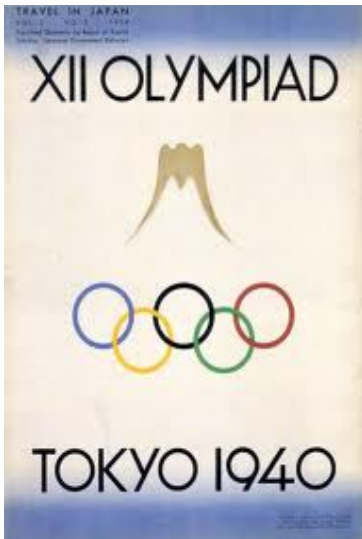
<https://www.youtube.com/watch?v=mbYh5yW2uzU>

「学問のすゝめ」初編

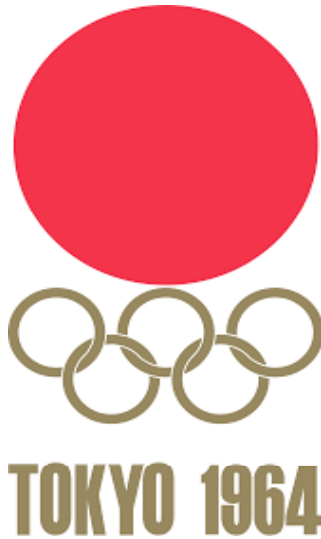


# 幻の東京五輪

2020年の東京オリンピックもぶっ飛んでしまうような事態になりかねない要素を余りにも多く抱え込んでいるという事だ…は、7年前消費税を5%から8%に上げる『間違っただけ』を下した時に発刊した本誌(2013年11月/35号)に記載したもの(添付)です。この時以来抱き続けて来た、不吉な予感が的中しそうだが、どうなるだろうか？



幻の東京五輪ポスター



栄光の東京五輪ポスター



創価学会ロゴ  
と  
鶴タブー紋



TOKYO 2020



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

2020年・東京  
オリンピックロゴ



TOKYO 1964



TOKYO 1964



TOKYO 2020  
OLYMPIC GAMES

若者の無限の可能性を謳ったポスター

そもそも論からしても始まらないが、東日本大震災の復興福島原発事故の收拾を訴えて、誘致したオリンピックだが、復興も收拾もついていないばかりか、開催決定された直後からケチの付通しで、主催地の東京都・JOC・政府関係者のデタラメな対応に「本当に開催できるのか？」という一抹の不安と共に、疑問と云うより疑義すら感じていた。



そこに、降って湧いたように『新型コロナウイルスのパンデミック』が起こった。「やってみなはれ…」で有名な松下幸之助翁でも、「やめときなはれ…」と、仰るのではないかという状況が深まっているように感じますが、如何でしょうか？

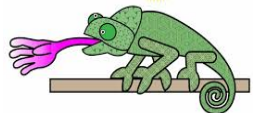
スポーツイベントの最高峰になったオリンピックは、いつの頃からか政治色・商業色の強いイベントに様変わりして来たのは周知の通りで、オリンピック憲章も毎年のように改定され、これに伴う利権構造・権力構造まで構築されて来ている。アスリート達は、各種目ごとの世界選手権で覇者になる事と、オリンピックで優勝する事を目標として、日夜厳しいトレーニングに励んでおられる事に敬意は払うものの、利権・権力構造に毒されない状態(Ship)を堅持し、権威を掴んで欲しい。

手練手管を弄して権力を掴んでも、歴史と伝統に裏打ちされ、日頃の鍛錬を要し取得できる権威は、成り上がり者・成金長者には(喉から手を出しても)逆立ちしても得られないものだ。

一世を風靡しようと、世襲に継承しようと、権力はいつの日にか失墜する。しかし権威は失墜しない。当然『権威もどきは、権威ではないから、たちまち化けの皮が剥がされる。』例えば、オリンピックに出場しても、メダルに届かなかった選手が居たとして、彼や彼女等は何の権威もないかと云えば、そんな事は無い。出場権を得て、堂々と世界の選手等と競い合ったというクーベルタン男爵の言われた「参加することに意義がある」に該当する権威を得ている。

「金メダル以外は要らない…」などと豪語したり、『勝ためには手段を選ばないで禁止薬物を使う』アスリートやコーチなどは、文字通り利権・権力構造に毒された者だといえるだろう。

I, WANT!



現在蔓延して歯止めが利かなくなっている新型コロナウイルスの拡散に、日本政府が発生地(中国)からの入国を止めないという、非常識な態度を取り続けている最大の理由は、習近平の国賓招待に忤度している以外に考えられない。

中国国内の混乱(民主化運動の高まり)を封じ込めた天安門事件に、世界が非難の声を上げている時、天皇訪中という間違っただけメッセージを送った結果が、鄧小平を援け、現在に至っている。政治・経済・社会が崩壊寸前になっている今の、中国が必要としているものが、最高権威に寄り添った姿を世界にアピールする事だ。太陽の光を集めて点火される聖火は、ゾンビ蠢く日本には届かないだろう。

# 元気な内に チェンマイに行こう！

本誌の趣旨は、何度も申し上げ、訴え続けて来ました『チェンマイにいらっしやい』ですが、ネットで調べれば誰でも手に入る観光情報などは極力避け、デジャブを感じる外地から見た、現在の日本の姿、あるべき姿などを、投射し、考察しながら、リラクゼーション・プレイスこそ、健康・元気の拠点である提案をし続けて参ります。が、



第2章で述べたとおり、直近の日本は、新型コロナ汚染国と見られ、初期対応から現在に至るまで後手後手、危機管理無防備国というより、無能力国と国際評価が下されそうです。誰一人として、今武漢に行きたいと思わないのと同様、外国人も日本への観光旅行は敬遠されて当然です。

例えば今、私が日本に一時帰国したらタイへの再入国がかなり難しくなるでしょう。タイ保健省は、国内での感染例が増加している新型コロナウイルス(COVID-19)に関し、従来の中国、香港、マカオ、台湾に加えて、日本、シンガポールからの渡航者及び過去14日以内にこれらの地域に滞在した渡航者に対して、空港でスクリーニングの対象とすることを決定しました。具体的には、体温が37.5度以上あり、かつ、咳、鼻水、のどの痛み、頻呼吸、呼吸困難のいずれかを伴う症状がある方は、タイ国内の病院においてウイルスの検査を受けて頂くことになります。

という通達が回っていますから、まずは日本人＝ウイルス感染者として疑われ、私自身去年のPm2.5被害で呼吸器系統に後遺症が残っていますので、帰国時に万一、感染してしまったら命取りでもあります。(〇〇危うきに近寄らず)

ですから、新型コロナウイルスが収束するまでは、帰国もできないし、来ても欲しくないというのが本音です。おそらく、中国からのインバウンドを止めない限りにおいては、日本国内の感染者数は指数関数的に増加するだろう事は想像に難くないでしょうが、国民の生命財産を守ることに以上に守りたい私欲を持った、政・財・官のエリート達に弄ばれても、何もしない三猿国民は、むなしく犠牲になって行くしかないのかも知れません。



結果論ではあっても、チェンマイに疎開して良かったと思っています。前述の去年のPm2.5被害は、丁度去年の今頃から4月末頃までの山焼き(野火)による煙害(毎年禁止札が出されていますがマイペンライで収まりません。去年は北京の数値を上回る記録的な空気汚染)で最悪でした。数年前は不法投棄されていたタイヤやプラスチックゴミが焼けているガスを吸い込んで体調を崩しましたが、去年の空気汚染は、その比ではありませんでした。(このネガティブな状況を克服する体験がウェルネスプログラムになっています)



若かりし頃は、かなり無茶な事をし続けて来ました。この歳になって無理が利かなくなってきました。気持ちだけは元気でも、基礎体力の低下は如何ともしがたく加えて、前述の呼吸器系疾患を患ってから、かなりガタが来ている事を自覚せざるを得ない状態ですが、モルモットとしては最適な状態とも云えます。自分の老化度をチェックする面白い動画を見ましたので、ご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=nT3Xtv7RZdl> 老化あるある テンパの裏話

連日連夜、新型コロナウイルス情報に釘付けになっていて、気付いた事です。人は自分の意思で生きているのではない。生かされている事の実感に気付いたと云う事です。(神や宗教の力で生かされている話ではありません)筋肉に随意筋と不随意筋があって、心臓は意志の力で働いているのではない事は知っていましたが、そればかりでなく、体内に数億個もの免疫細胞があって、免疫力を発揮し生命を維持活性化させ、病原菌とも戦っていると云う事です。(資料をご覧下さい)

<http://www.e-shigenoya.jp/honey/immune.html> 免疫力とは

資料から、体内の免疫システムは15歳までに出来上がり、20歳を超えると低下していく。と、あります。免疫力を高めるには①腸内環境を整える。②体温を上げる。が提案されています。生活習慣の見直しとして①適度な運動をする②ぐっすり眠る③栄養バランスを大切に④入浴で身体を温める⑤思いっきり笑う。正に、ウェルネスプログラムそのものです。

①体力低下や、機能不全などで適度な運動が出来ない人でも、タイ古式マッサージが運動効果をもたらします。②くつろぎのいおりで、ゆっくりと休んで下さい。③最高の栄養補給はRJ④掛け流し、天然温泉入浴で心身ともに清潔・リラクセス。⑤一人なら、観きれないほどあるYouTube番組で笑うのもよし、友人・知人との語らいで談笑するのも良いでしょう。

現在、タイ・チェンマイは入国規制が掛っていますから、上記の内容を個別に実施して免疫力を高めて下さい。規制が外れたら、効果的なプログラムにチャレンジする事をお勧めします。「とある半島のあの国…」を目一杯おちよくて、何度もYouTubeからバンされ続けている動画で、毎日笑っています。

<https://www.youtube.com/watch?v=tyBVgumGc0c>

韓国武漢肺炎感染者数推移

[https://www.youtube.com/watch?v=5nRn\\_g3qmTQ](https://www.youtube.com/watch?v=5nRn_g3qmTQ)

3600億匹のイナゴやバッタが襲来！



免疫力は  
風邪や感染症から体を守る  
自己防衛機能です。